

川南町 通学路交通安全対策会議資料について (提出)

このことについて、下記のとおり提出いたします。

記

1 危険箇所

県道307号線川南病院から唐瀬交差点までの道路

資料3 (川南) 川南小学校通学路対策箇所図⑥参照※歩道幅が狭いので危険

2 登校時の交通量等調査

(1) 目的

県道307号線川南病院及び市納方面から唐瀬交差点に向かう車の量及び児童数の調査を行い、現状を把握する。

(2) 調査日

平成28年2月18日 (木) 7時15分～7時50分までの35分調査

(3) 調査場所

県道307号線唐瀬交差点 ※曇り

(4) 調査結果

7時15分から7時50分までの交通量及び登校する児童数の調査

調査時間帯	交通量	登校児童数	備 考
7時15分～30分	51台	12名	市納方面からの児童が登校
7時30分～50分	88台	41名	川南病院方面からの児童が登校
合 計	139台	53名	

(5) 考 察

児童は各登校班において集団登校を行っている。市納及び川南病院から登校する児童は、本日の調査では53名いた。各地区の集合時刻は6時40分から7時20分の時間帯であった。調査時間帯に合計139台の車が通過している。
特に危険と感じるのは、歩道が整備されておらず、幅80cmの道を歩いてくるので車との接触の危険性を強く感じている。歩道の拡張工事は難しいのではないかなと思うので、危険と思われるカーブ付近や交差点付近へのガードレールの設置を県に要望していただきたい。
また、保護者でボランティアによる登校指導をされている方から、市納方面から県道307号線を横断歩道を利用して渡る時の横断旗の設置をお願いしたいとの要望がありましたので、この2点についてご検討をよろしくお願いいたします。